

橋田幸子講演会& 橋田信介写真・遺品展

携帯電話で見れます！
※使い方など、詳しくは15ページをご覧ください。



イラク戦争の犠牲となった戦場ジャーナリスト、故・橋田信介氏の妻であり「橋田メモリアル・モハマドくん基金100人委員会」代表の橋田幸子氏の講演、信介氏による写真や遺品展を開催します。今年度のテーマである「命-平和-」について考える機会にしてください。

講演会「約束 - 戦場ジャーナリスト・橋田信介と見るイラク -」

日時 9月15日(土) 14:00~15:30 (開場は13:30)

場所 藤原文化センター

入場料 無料ですが整理券が必要です。(配布中)

※手話通訳・要約筆記・託児あり

※入場整理券は、下記の窓口で配布しています。(一人3枚まで)

配布窓口 藤原文化センター・北勢市民会館・員弁コミュニティプラザ・中央公民館・大安図書館・各庁舎総合窓口課



橋田信介写真・遺品展

日時 9月8日(土)~16日(日)

9:00~17:00

場所 藤原文化センター

入場料 無料 (整理券もありません)



標語募集のお知らせ

今年度のテーマ：『命』(サブテーマ：いのち、生きる、平和)

今、あらためてみつめなおしてみたい「命」をテーマに“生きる喜び”を表した標語を募集します。

※詳しくは、募集チラシをご覧ください。募集チラシは各庁舎・文化施設の窓口と人権啓発課にあります。

応募資格 いなべ市にお住まいの方・市内事業所にお勤めの方

応募方法 募集チラシについている応募用紙に記入し、人権啓発課へご応募ください。また、はがき、FAX、いなべ市のホームページからも応募できます。ただし、住所・氏名・電話番号・事業所名の記入もれがないようご注意ください。

締め切り 10月11日(木)

☎大安庁舎 人権啓発課 ☎78-3508 ☎78-1114

市長コラム

川原白瀧棚田が全国表彰受賞

いなべ市長
日沖 靖

川原グランドから西へ、急傾斜の山道を下ると、緑のじゅうたんを重ねたような棚田が広がっています。この懐かしい風景に癒されるのは私だけではないと思います。しかし、この田んぼも6年前までは維持管理の大変さや鳥獣害などにより、耕作が放棄された状態でした。一度荒廃した田んぼを元に戻すのは、並大抵の苦勞ではありません。ましてや機械の入らない急傾斜地ではなおさらです。

川原では地元有志が棚田の復元のために保存会を結成し、都会の人にも声をかけ、荒れ果てた田んぼと一緒に開墾してきました。今では、米作りから酒造りへ、レンコン、マコモ、果樹作りへと広がっています。この棚田の復元と、昔ながらの農作業への取り組みなどが高く評価され、平成19年度の棚田学会賞を受賞されました。

川原の棚田では農業の「良いとこ取り」をしてもらう観光農業ではなく、都会の人にも「安心で安全な食物を作ることの大変さ、苦勞」を知ってもらいたいと、できるだけ農薬を使わず、農地の復元から土作り、田植え、草取りや稲刈りも手作業で行い、稲刈り後は稲架(はさ)掛けの天日干しで米を乾燥させています。もちろん農業の厳しさ、辛さも噛み締めながら、本当の楽しさや達成感を味わってもらうのも目的の一つです。

棚田の復元に取り組んで6年、開田された面積は約2.5ha、農作業に通って来る都会の人は23家族と1団体で年々増加しています。ご苦勞いただいたみなさんに拍手を送ります。

